

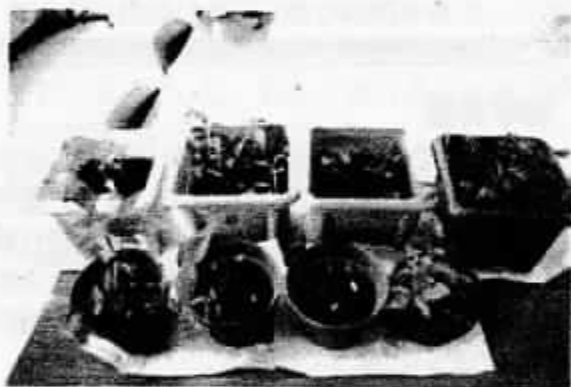
# ニュースレター No.7

発行：2001年6月

## ■春の現地調査が行われました。



市民と専門家が一緒に調査しました。



近くにお住まいの方が埋土種子調査（土の中に入っている種の調査）を行っています。

## ■お気づきですか？

調布に今年もまたツバメが帰ってきました。市役所そばの福祉センター軒下の街灯にも親鳥が巣づくりをはじめたようです。

ツバメは、たくさんの方が巣の下をとってもあまり気にしないようです。もうすぐかわいいひなの鳴き声が聞こえてくることでしょう。カラスなどに襲われずに無事に巣立つ

ように見守っていききたいものです。

（イラスト：環境モニター）



5月20日（日）入間町1丁目の崖線樹林地の保全活動の一環として、春の現地調査が行われました。参加者は、近隣の市民や専門家、環境保全課職員など45名ほど集まりました。

調査は、1m四方の枠を8ヵ所定点地区として設け、林床（林の下）の植物の種類と量（被度と群度）と高さを調べました。

入間地域福祉センターに9時30分に集合し、まずは調査方法の説明を受けました。ほとんどの人が調査は初めてで、ピンと来ないようでしたがいざ実践！

樹林地の中に入り調査枠を設置し調査をしました。植物の名前がわからず、エノキとムクノキの違いは？この小さな植物は？など専門家と相談しながら調査を進めていきました。発芽して間もない植物もあり、専門家も悩むものもあったようです。

調査終了後地域センターへ戻り、植物の種類数と林の状態を簡単に比較して12時に解散となりました。（調査結果の概要は2ページにまとめています。）

午前中だけの簡単な調査ですが、今後も誰にでもできる調査を行い、基礎的なデータを集めていきます。また調査以外にも勉強会や管理作業の体験など様々な取り組みを行っていきます。（入間・樹林の会）

### 一 内 容

春の現地調査の報告  
調布市内での活動報告  
連絡会議議事要旨  
イベント情報

## 調布市内での活動報告!

### 環境モニター活動

環境フェアのガイドウォークに向けた下見を、5月19日(土)、21日(月)の2回実施しました。南口を出発して布田3丁目の屋敷林の多い裏道から6丁目のへび山(下布田遺跡)までの往復約2時間のコース。大木や雑木林、緑の小道があり身近な自然に目を向けるよいコースです。

前年度の活動は、マップづくりの調査活動に終了しましたが、今後の活動は、市民への啓発、調査の継続、情報交換の3つの柱で進めていきます。

環境フェア当日に詳しい活動方針や新規モニターの募集を行います。興味のある方は、是非訪れてみてください。

●次回連絡会 6月4日(月)18:30~

### 身近な川を見守る会

4月14日(土)に水生生物調査を、野川「いこいの水辺」と「細田橋」で行いました。これまで7回実施してきた調査結果をまとめました。

5月26日(土)には水生生物調査を、市内湧水地で行いました。野川と異なる生物として、モンカゲロウ、カワゲラ、フヨ、カワニナ、サワガニ、などが見つかりました。



その他、ミスゼニゴケ・クロカワゴケや、ミクリの花、ミソホオズキ、わさび、など水辺の植物も見ることが出来て、楽しい調査となりました。

ミクリの花

### 田んぼの学校「田んぼとレンゲ」

わたしたちの田んぼにレンゲが咲くようになって今年で2年目です。今年も田んぼいっぱい咲き、道行く人に大変喜んでもらったと竹内さんにおっしゃっていただきました。

田んぼの「お手伝い」をやってきて良かったとつくづく思います。レンゲには肥料の三要素の一つであるチッソをその根に固定(根粒菌、こんりゅうきん)してくれる働きがあり、田んぼにレンゲは懐かしい里山の風景を思い出させてくれます。ミツバチもうれしそうにせっせと蜜を集めていました。田んぼの周りでみんなが生きているんだと実感させてくれるレンゲでした。(野川で遊ぶまちづくりの会 尾辻)

○予定: 6月16日(土)しろかき、6月17日(日)田植え、ホタル鑑賞会

※野川で遊ぶまちづくりの会は、佐須用水で操業を行っています。今年是一般参加(登録制)も加え、9年目の米づくりを楽しんでいます。



苗床づくりのようす(4月)

### 入間・樹林の会

5月20日(日)入間町崖線樹林地の植物の調査を実施しましたが、ここでは、簡単に調査結果について考えてみます。(表紙に関連記事)

まず、それぞれの被度と出現種類数、特徴的な種類について比較してみました(紙面の都合上結果はこの表しか載せられません)。特徴的な種類とは、各枠に1種類しか出現しなかったものです。表からは、被度と出現種類数の相関関係や特徴的な種の割合の違いが読み取れます。また、細かい分布を判断すると「シロダモヤアオキの多い場所」や「全体的に少ない場所」などの特徴も見られ、理由がありそうです。なぜこのような「特徴」が現れるのか、みなさんと継続的に調査し一緒に考えながら、今後の管理へ活かしていきたいと思えます。

枠番号	枠1	枠2	枠3	枠4	枠5	枠6	枠7	枠8
被度(%)	80	60	60	40	30	50	70	90
出現種類数	15	14	8	8	3	11	10	16
特徴的な種	7	7	5	5	2	3	5	11

全ての植物の種類数 約50種

●次回世話人会 7月4日(水)18:30~

### 雑木林塾

調布市では、自然環境保全計画に基づき市域に残る雑木林の保全に取り組んでいます。現在、入間町の崖線樹林地では、市民が主体となり調査や勉強会を行っています。今後は、市全体の雑木林の調査、分析、雑木林復活のプログラムづくりを進めたいと思っています。

詳しいことは、計画中ですが「雑木林塾」として、ちょうふ環境市民懇談会のプロジェクトに位置付け活動していきます。次の連絡会議で検討できるよう準備を進めていきます。

## 野川・里山探検隊

6月23日(土)細田橋に集合。まずは近所のツバメの巣を観察。そのあと野川に下りて石をひっくり返したり、網を使ったりして生き物捕りをしました。捕まえた生き物の名前を確認し、野川に返して自然広場に移動、そして昼食。



昼食後、昨年秋に植えたドングリの様子を見に行くと、オオブタクサに囲まれながらもドングリの苗は30センチ程に生長していました。みんなで草取りをしたあと、湧水池に移動してザリガニ釣りを楽しみました。春の探検隊の時は、なかなか思うように釣れなかったザリガニも、この日はたくさん釣ることができました。用意してきた持ち帰り容器に飼育用のザリガニを確保し、残りは茹でて頂きました。初めて食べる子供達が多く、その感想もいろいろ…でした。

●次回の予定 8月25日(土)、26日(日)1泊2日  
かに山キャンプ場でキャンプ

## 雑木林塾開設!

前号でもお知らせしましたが、調布市では自然環境保全計画に基づき、市域の雑木林保全活動に取り組んでいます。現在、入間・樹林の会が市所有の国分寺崖線の保全活動(調査・学習会)を実施しています。

そして、今回開設する「雑木林塾」では、市全域の樹林地の保全活動を実施し、武蔵野の原風景である「雑木林」の復活を目指します。

今年度の目標として、調査活動を実施し市内の樹林地の現状把握・分析、雑木林復活に向けた活動の提案を行います。また、将来維持管理を担う市民の育成もあわせて実施します。

雑木林塾開設に向けて準備会議を行い、第1回目の集まりに向けて検討していきます



●雑木林塾準備会議 7月11日(水)18:30~  
調布市役所6F男子休憩室

第1回雑木林塾の開催に向けて、テーマや役割分担などの検討を実施します。

●第1回雑木林塾 7月28日(土) 13:30~  
(予定) たづくり1102学習室  
スライドや地図から調布の自然の様子を学習し、今後の活動について話し合いを行います。(会場の都合により定員30名程度とします)

## 気になるこの一冊『生きている野川 それから』

10年前に絶賛を浴び、野川の知名度を全国区にした写真集「生きている野川」が装いを新たにして出版された。鶴山さんの写真は10年前と変わらず、詩情豊かに野川と玉川上水の流れを写している。しかし、カメラは美しい水辺と生き物の営みだけでなく、宿命とも思われ始めた濁水を課題として読者に訴えている。応えるのは市民ではないでしょうか。



Wild River: A Stream Water Stream and Its Living Things  
Eiji Tsuruyama

鶴山英次・写真 若林孝子・編著

発行:創林社 発売:けやき出版

【内容】

川霧の風景

野川といま

みんなで楽しく学びあう

見つめていきたいこと

野川を愛する市民グループ

年表

(調布の市民団体も協力しています)

## 子どもエコクラブ

6月10日(日) 石原小学校ヤゴ救出作戦を実施。当日参加した石原小の子どもたちや子どもエコクラブの子どもたちは、興味・感心を持っている子どもたちなので、良く聞いたり、ファール顕微鏡で熱心に観察したり、調べたりしていました。プールに入っただけのヤゴ救出は、初め低学年からプールへ入りました。恐る恐る入っていた子どもたちでしたが、ヤゴが取れ出すと、夢中になり、最後は全員の子ともと保護者、校長先生もプールに入っただけの盛況ぶりでした。今後の予定として、秋にプールが終わったら、こんどは「ギンヤンマ」の産卵に挑戦し、2~3年後には、年間を通して調査や観察できる「ピオトープ」づくりに子どもたちと挑戦したいとのことでした。

## 凸凹山ワークショップ

「布田崖線緑地・凸凹山児童公園整備基本構想づくり」が調布市緑と公園課の呼びかけで市民参加が進められています。2000年7月の現地見学会のあと、親子で遊んだり模型づくりなど現地を知る活動や話し合いを行ってきました。2月3日のワークショップで、これまで出された意見をもとに3つの原案にまとめました。

その後活動は中断していましたが、6月18日(月)緑と公園課の呼びかけで世話人会が開かれ「凸凹山探検隊 森はすずしいヨ、みんな集まれ!!」を開催することに。現地を活用して、夏の植物や昆虫、湧き水探しなどを行い、親子で身近な自然にふれるイベントを開催する予定です。

(発信:江刺)

●次回世話人会 7月16日(月) 19:00~たづくり602

★「凸凹山探検隊」8月4日(土)予定(詳細は7/20市報)

## 入間・樹林の会

6月10日(日)多摩丘陵にある長沼公園で実習を行いました。ここは都立の公園ですが管理はボランティアの活動によって支えられています。

長沼駅から5分程歩くと公園というより高尾山ののぼり口のような小路(殿が谷の道)があり、そこが入り口の一つでした。杉の木の多い林を抜けると斜面の中腹が急に開けて草っ原となり、その中央部が囲われていました。いくつかの植物が保護されています。図鑑を片手にその名前を探し出すことに夢中のメンバーもいました。

尾根を上りきった頂上園地で昼食。午後からは下りながらドングリの苗が育つ畑やカタクリの群生地を見学。時期を過ぎてちよっぴり残った葉っぱを確認。調査のために採集した種をみんなで少しずつ播きました。7年後に咲く花を楽しみに待ちましょう。

このあと竹やぶで竹切りの実習。ノコギリを使って竹を切り倒し、脇枝を竹の棒でスパッと叩き取る。爽快ですばらしい実習でした。こんな作業がはじめての人がほとんどでしたが、みんなで作業する楽しさも味わえ、樹木の種類によって林の趣が変わることも観察できた楽しい一日でした。



●次回世話人会 7月4日(水) 18:30~

## 田んぼの学校「田植え」

調布では、現在でも田んぼをやっている農家が染地地区、多摩川地区、佐須地区に残っています。そのなかでも、湧水が源泉になっている用水を使っているのは佐須地区だけです。この通称佐須用水もその湧水の量が減りつづけているため、田んぼを維持するのは困難になってきています。

私たちが援農している田んぼも6月17日(日)に無事田植えをすることができました。梅雨に入ってしらかきに必要な水を確保することができ、ホッとしました。子供たちが田植えそのものに興味を持っているのはわずかな時間で、すぐに他のことに熱中しはじめます。それは、どろ遊びや、ザリガニなどの生き物捕りです。子供にとってはこっちの方が楽しいし、面白いに決まっています。午後の2時ころ来た子供たちは結局夕方6時過ぎまで遊びに夢中でした。(野川で遊ぶまちづくりの会 尾辻)



# 第7回連絡会議 議事要旨

## ●第6回連絡会議の議題

- プロジェクト等の情報交換
- 環境フェア出展に向けて
- ニュースレターの作成について
- その他

日時 平成13年5月24日(水)  
18:30~21:00  
出席者 11名

## ◆議事要旨

### 1. プロジェクト等の情報交換

連絡会議はおもに情報交換の場として開催されています。このニュースレターの活動報告やイベント情報は、その時のものをまとめたものです。

### 2. 環境フェア出展に向けて

6月9日(土)調布駅南口で開催される「平成13年度 環境フェア」で出展する内容について検討を行った。

#### ・展示物

設立シンポジウムで使用した環境市民懇談会の組織図、自然環境保全計画の概要を一部修正し掲示する。(サイズA2程度)

#### ・配布物

ニュースレター№7と組織図・会則が載っているパンフレット(A4)

#### ・積極的支援者の登録

資料の配布や会の解説のほか積極的支援者の登録者を募る(前回決定)。積極的支援者の名簿づくりとして登録カードとプロフィールカード(案)を作成し検討した。検討の結果、レイアウトを変えることとプライバシーの秘事について明確に記すことで合意を得た。

#### ・当日の出席者

環境フェアに出席できるのは4名であるが、他会に関係者がいるため、お互いに協力し合うえば人手は大丈夫であろう。(当日手伝い歓迎)

### 3. ニュースレターの作成について

これまで事務局が作成してきたものをサイズ、レイアウト等変更し、一般の人へわかりやすいよう再構成する。また、名称(タイトル)の変更も今後進めていきたい。

■編集分担は下記のようにする。

- ・全体の編集作業…市民有志
- ・全体のアドバイス等…事務局
- ・原稿チェック…メールを持っている人全員
- ・原稿受付等の窓口、印刷・発送…環境保全課

■原稿作成は以下の役割で当面進めていく。

- ・表紙…市民有志と事務局
- ・活動報告…市民有志(連絡会議の情報为主である)
- ・議事録…事務局
- ・イベント情報…市民有志(連絡会議などより)
- ・コラム1…田んぼの学校の経過報告
- ・コラム2…身近な自然についてのお知らせ

### 4. その他

■全体会(シンポジウム)の開催について

- ・内容は、運営委員の改選、懇談会の1年間の取り組み報告を行うもの。
- ・映画「里山物語」を上映するかは、費用や機材等を検討する(→保留)。
- ・日程は、たづくり大会議室2月23日(土)の午後~夜間で調整する。

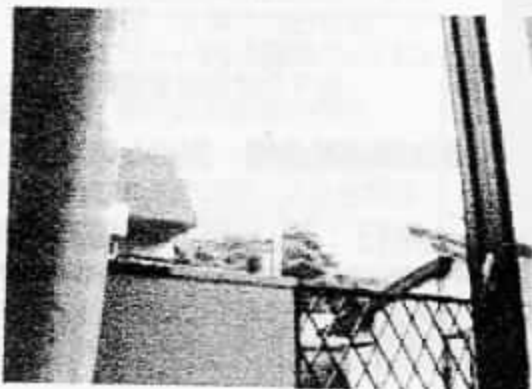
■次回連絡会議の日程は6月21日(木)18:30~  
調布市役所6F 図書室とする。

## 絵っせい:窓からの風景 …… 小豆畑 ……

市内染地から現在の佐須1丁目に転居して、まる5年が過ぎました。染地当時の住まいは南に面したマンションの2階で、原っぱのその南に田んぼが続く、それなりに気に入った風景でした。今の住居は一戸建てで、私の部屋は2階の東南の角部屋です。南には隣家がありますが、屋根と屋根の間の切り取られた空間に、30メートル程離れた虎豹神社の木立の梢(こすえ)が数本見えます。イヌシデとシラカシの大木で緑の量が多く、想像力をたくましくすると山の頂きのようにも見えます。実はその風景は私の寝ているベッドからのものなのです。風にざわめき、雨にうたれるさまを寝転んで見ていると、心落ち着く時間が続きます。

ところで鎮守の森はその地域の自然植生を反映していると言われます。最も高い木に神が降るとされ、その神が集落の守護神として崇められてきたそうです。このあたりは西日本から続く照葉樹林帯だったそうですが、虎豹神社の抛り代(よりしろ)はシラカシだったのでしょうか。

しかし、真中のあの電柱なんとかならないかな。



# イベント情報

参加しませんか？

## ● 入間・樹林の会 第4回勉強会

日時：6月10日(日) 10:00  
(16:00 解散予定)

集合場所：京王線 長沼駅改札前

持ち物：昼食、飲み物、軍手

フィールドノート、筆記用具、

長沼公園は多摩丘陵の北の端に位置し、雑木林からなる丘陵地の公園です。雑木林は「多摩丘陵の自然を守る会」がボランティアにより管理しています。今回は雑木林の自然観察や市民参加の公園管理のあり方、簡単な管理作業を行います。作業しやすい服装でご参加ください。

(お問合せは、環境部環境保全課へ)

## ● 環境フェア

日時：6月9日(土) 10:00~15:00

場所：調布駅前南口広場

調布市環境部の主催により、環境フェアを開催します。当日は、環境部の事業紹介やこれまでちょうふ環境市民懇談会が取り組んできたこと、入間・樹林の会の活動報告や環境モニター主催のガイドウォークなどが開催されます。

(お問合せは、環境部環境保全課へ)

## ● ガイドウォーク (各回定員30名)

1回目-10:00~ 2回目-13:30~

調布駅南口を拠点に環境モニターがガイドウォークを行います。予定では、2時間程度散策します。マップを片手に身近な自然を探しに出かけませんか？

(申し込みは前日までに電話で環境保全課へ)

## メンバー募集!

### ◆ 野川・里山探検隊 (雨天中止)

日時：6月23日(土) 10:00~15:00

集合場所：野川 細田橋

持ち物：昼食、飲み物、濡れてもいい靴

替替え (ズボン、シャツ、靴下等)

生き物の持ち帰り用容器

野川と湧水の生物観察とザリガニ釣りを行います。

※野川・里山探検隊では、毎年野草摘みやキャンプ、七草の寄せ植えなどを市内で行っています。年5~6回の活動を予定しています。(日程等は未定)一緒に活動してみませんか。

対象：市内在住・在学の中学生以下の方(参加費無料)

申込み：6月22日までに電話で環境保全課まで

(申し込まれた方に、探検隊開催前に通知を毎回送ります。)

### ◆ こどもエコクラブ (小雨決行)

~フールのヤゴを育てよう~

日時：6月10日(日) 10:00~14:30頃

集合場所：市立石原小学校校体育館前

持ち物：昼食、あみ(目の細かいもの)

ヤゴを入れる容器(ペットボトル、フィルムケース等)

タオル、替替え一式

服装：よごれてもよい服、古い運動靴、帽子

申込み：6月1日までに電話またははがきで

(住所、氏名、こどもの年齢、電話番号明記)

環境保全課こどもエコクラブまで。

## その他の情報

### ■ 鈔山英次写真展「多摩と五」

会期：5月20日(日)~6月12日(火)

10:00~18:00

(休館日5月28、29日)

会場：調布市文化会館たづくり1階展示室

### ■ 鈔山英次のスライド上映とお話の会

テーマ：川は蛇行する 講師：鈔山英次

(東京新聞編集局フォトアドバイザー)

・日本写真協会理事)

日時：6月9日(土) 14:00~16:00

会場：調布市文化会館たづくり8階映像シアター

### ■ 里山保全シンポジウム

日時：7月1日(日) 13:45~18:00

会場：大学セミナーハウス 講堂

(八王子市下柚木 野猿峠バス停徒歩5分)

資料代：500円

基調講演：「多摩丘陵の今昔」畔上能力

：「生物群集の安定と共存」古林賢恒

リレー講演：「緑の回廊としての多摩丘陵を守るために」

問合せ：多摩丘陵の自然を守る会

0426-76-8719 (青山)

0426-76-6140 (石黒)

ちょうふ環境市民懇談会は、調布市内の自然環境を保全・改善・回復していくために、「話し合いの場や、活動の交流・支援、人材育成、啓発活動、情報の収集や発信」といった活動を、パートナーシップをもとに進めていくことを目的に設立されました。様々な環境保全活動にご協力いただけるボランティアを募集しています。

連絡会議へ是非出席してください。

### ● 次回連絡会議 2001年6月21日(木) 市役所6階図書室 18:30~20:30 ●

お問合せ先：調布市環境部環境保全課 小豆畑・倉林 TEL0424-81-7086

発行：ちょうふ環境市民懇談会

E-mail: kankyuu@w2.city.chofu.tokyo.jp

自然環境の学習や保全に関する情報を募集しています。また、様々なお便りも募集しています。